

【事務事業シート】

1

当初

6 年 度	事 項	太平洋新国土軸構想等推進事業費							予算主管課	地域政策課	
	事 業 概 要	国土形成計画において長期的視点から取り組むこととされている太平洋新国土軸構想と、その実現の鍵を握る豊予海峡ルートの実現に向けて設置されている各協議会の必要経費について、一部を負担する。							始期	1990	
									終期		
	K P I	国土交通省への要望回数									
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	2 回	目標値	2 回	目標値	2 回	目標値	2 回
		実績値	2 回	実績値	2 回	実績値	2 回	実績値	回	実績値	回
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	1,199 千円	最終現計 予算額	856 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額	659 千円			決算額	558 千円	決算額	千円	決算額	千円		

6 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	今後も他県や他団体と連携し、構想の実現に向けて、粘り強く要望活動、機運醸成活動を実施する必要がある。								

2

当初

6 年 度	事 項	鉄道安全輸送設備整備事業費							予算主管課	地域政策課	
	事 業 概 要	鉄道利用者の安全確保と利便性向上等を図るため、厳しい経営環境に置かれる中で施設の更新等による安全運行の確保が喫緊の課題となっている地域鉄道に対し、設備整備の費用の一部を補助する。							始期	2013	
									終期		
	K P I	設備不良による重大事故の発生件数									
		KPI種別	下がるが良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件
		実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	件	実績値	件
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	8,000 千円	最終現計 予算額	8,000 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額	8,000 千円			決算額	8,000 千円	決算額	千円	決算額	千円		

6 年 度	要因分析	要因 令和６年度の整備箇所（横河原線久米駅から平井駅間のレール更新及び高浜線三津駅構内のマクラギ更新）を行うことで、郊外線50kgNレール交換比率は36.1%、PCマクラギ交換比率は46.6%）となった。									
		総括									
	見直し方向性	維持	伊予鉄道㈱では、さらなる利用者の安心・安全の対策のために令和7年度以降の老朽化対策について設備整備箇所を延伸させているところ。また、燃油価格高騰や資材の物価高騰もあり、更新対象施設を多く抱える伊予鉄道㈱の安全対策や経営状況を確認しつつ、事業者や沿線市町と連携し、補助を継続していく。								

3

当初、2 月補正	事 項	離島航路整備事業費								予算主管課		地域政策課	
	事 業 概 要	離島における唯一の生活交通手段である離島航路を維持・確保するため、国庫補助対象航路を運営する市町及び国が国庫補助対象航路に決定した航路事業者に欠損補助を行った市町に対して補助する。								始期		1980	
										終期			
	K P I	国庫補助旅客航路数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	11 航路		目標値	11 航路		目標値	11 航路		
		実績値	11 航路		実績値	11 航路		実績値	11 航路		実績値	11 航路	
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	336,935 千円		最終現計 予算額	312,686 千円		最終現計 予算額	千円		
	決算額			336,424 千円		決算額	312,513 千円		決算額	千円			
6 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	離島における唯一の生活交通手段である離島航路の維持及び確保を目的としており、8年度予算の計上方法の見直しは想定していない。										

4

当初

事 項	四国新幹線導入促進事業費							予算主管課		地域政策課					
事 業 概 要	四国への新幹線導入に向けて、県内で導入効果や必要性に関する広報啓発事業を実施するほか、関係団体と連携し四国内外での機運醸成や鉄道事業者、国、地方機関等との情報共有を推進する。							始期	2001						
								終期							
K P I	四国新幹線の効果を理解している県民の割合														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	50 %		目標値	55 %		目標値	60 %		目標値	65 %		
	実績値	%		実績値	57.4 %		実績値	41.5 %		実績値	%		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	114.8 %		達成率	75.5 %		達成率	%		達成率	%	
	コ ス ト			最終現G1 予算額	5,847 千円		最終現G1 予算額	5,848 千円		最終現G1 予算額	千円		最終現G1 予算額	千円	
決算額				5,357 千円		決算額	5,766 千円		決算額	千円		決算額	千円		

6
年
度

要因分析	要因 R5の実績値は高校生アンケートを、R6は県政モニターアンケートの数値を使用している。四国への新幹線整備が必要と思う割合は、年齢が低いほど大きいことがR6の県政アンケート結果から分かっている（18～29歳では59.8%となり、R5実績値と近い）。実績値が対前年度△15.9%の理由は、対象年齢の差によるものと分析している。										
	総括										
見直し方向性	維持	四国新幹線整備促進期成会が令和6年度から実施している署名活動や例年開催の東京大会への案内、県期成同盟会主催のイベントや広報事業開催、複数の広報媒体を用いた広報の展開を通じて、より多くの県民へ四国新幹線の整備効果について理解の浸透に努める。									

5

当初

事 項	J R 予土線利用促進事業費							予算主管課	地域政策課	
事 業 概 要	路線の存続が懸念されているJR予土線に関して、愛媛・高知両県及び沿線5市町等で構成する予土線利用促進対策協議会に参画し、生活利用と観光利用の両面から予土線の利用促進及び南予活性化に資する事業展開に取り組む。							始期	2013	
								終期		
K P I	YODOSENサポーターの人数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	1500 人	目標値	1650 人	目標値	1800 人	目標値	1950 人
	実績値	1432 人	実績値	1604 人	実績値	1860 人	実績値	人	実績値	人
	ストック/フロー	フロー	達成率	106.93 %	達成率	112.7 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	1,646 千円	最終現計 予算額	2,151 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			1,634 千円	決算額	2,123 千円	決算額	千円	決算額	千円	

6
年
度

要因分析

要因

予土線利用促進対策協議会が高知県と合併したことをきっかけに、高知県でのイベント出展の実施を行ったことや、予土線全線開通50周年イベントの開催により、これまでPRできていなかった層へのアプローチができたことで、予土線の周知を行うことができた。

総括

見直し方向性

維持

沿線市町や高知県と連携し、県内外のイベント出展やSNSを活用した広報などを行い、沿線だけでなく県外に向けたPRに注力し、予土線の周知及び利用促進対策協議会の活動を広めていくことで、YODOSENサポーター数を増やす。

6

当初

事 項	生活バス路線確保対策事業費							予算主管課	地域政策課	
事 業 概 要	広域的・幹線的なバス路線の運行欠損及び車両の減価償却費等に対して補助する。また、市町が行う廃止路線代替バスの運行費及び車両購入費に対して補助する。							始期	2001	
								終期		
K P I	前年度補助対象であった路線の維持率									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
	実績値	98.6 %	実績値	100 %	実績値	97.1 %	実績値	%	実績値	%
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	97.1 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	328,757 千円	最終現計 予算額	325,129 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			319,888 千円	決算額	318,373 千円	決算額	千円	決算額	千円	

6
年
度

要因分析	要因 玉川地域における人口減少等の影響により、2路線が再編の対象となり、未達成となった。	
	総括	
見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。

7

当初

7	事業概要	事項	地域公共交通計画等推進事業費							予算主管課	地域政策課
			6年9月に計画期間が満了する県地域公共交通網形成計画の次期計画「県地域公共交通計画」を策定し、計画に位置づけた各種事業の推進、評価を行うとともに、運輸業の人材確保に向けた魅力発信等を行う。							始期	2019
										終期	
	K P I	地域公共交通網形成計画の各計画目標ごとの各事業項目の着手率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	778 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			千円	決算額	778 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	令和6年度の実績は目指すべき成果に達した。7年度以降も目標を達成すると考えられるため、執行方法や見直しは想定していない。								

8

当初

事 項	空飛ぶクルマ社会実装促進事業費										予算主管課		地域政策課		
事 業 概 要	「空飛ぶクルマ」の本県における円滑な社会実装を促進するため、県内外の自治体及び事業者と推進ネットワークを構成し、離発着場候補地の調査等の活動を通じて、理解促進・機運醸成に取り組む。										始期	2022			
											終期	2027			
K P I	空飛ぶクルマ・ドローンの県内事業化検討件数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	5 件		目標値	5 件		目標値	10 件		目標値	10 件		
	実績値	0 件		実績値	2 件		実績値	5 件		実績値	件		実績値	件	
	ストック /フロー	ストック		達成率	40 %		達成率	100 %		達成率	%		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	3,750 千円		最終現計 予算額	3,590 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円	
決算額				3,309 千円		決算額	3,360 千円		決算額	千円		決算額	千円		
6 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	これまでの県民と事業者の理解促進・機運醸成に主眼を置いた推進ネットワークの取組を継続しつつ、より参入意識や事業遂行能力のある事業者を対象に、課題の共有・提案等を行い、事業化を意識した活動に発展させることを通じて、引き続きKPIの達成を目指す。												

